

Discovery H. S. Kanzaki

2020. 12. 24

第464号

兵庫県立神崎高等学校

TEL 0790-32-0209



ディスカバリー

ハイ スクール

カンザキ

夢を発見し実現できる学校

うぐいす荘訪問

例年12月に2年生の「ボランティア実践」選択者と家庭科部で近隣の社会福祉施設にいき、クリスマスカードやパウンドケーキを届けに行きます。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、例年通りの実施ができませんでした。

そこで今年度は、家庭科部で10月からクリスマスリースを製作し、贈呈しました。色とりどりの布を組み合わせ、温かみのあるリースをつくりました。11月下旬には、保育園や特別養護老人ホーム、グループホームなど施設に一足早いクリスマス気分をお届けしました。



入試説明会(2年)

12月11日に2年生の進学希望者と保護者の方を対象に、入試説明会を行いました。まず始めにNPO法人学校育成ラボ理事長の今中一雄様を講師に招き、「大入試の現状と気になるお金の話」をして頂きました。その中で繰り返し、授業を大事にしていますか？間違い直しをしていますか？と常に自問してください、と教えて頂きました。生徒達には、教えて頂いたことをすぐに実践してもらいたいです。

次に、進路指導部長より本校の進学の現状について話がありました。先輩達の現状や色々な制度があるということ、志望理由書の内容等の話がありました。進路指導室には、インターネットでは得られない多くの情報があります。早い段階からの準備が、進路実現に繋がります。2年生の3学期は、3年生の0学期です。それぞれの進路実現に向けて、地道にコツコツ頑張ります。

神高生の主張

12月15日(火)3・4校時に「夢を追う神高生の主張大会」が実施されました。本年度は、コロナ感染対策として、体育館ではなく、発表者が放送室から教室の聴衆に向けて発表しました。

以下 クラス代表と題目です。

■1年生

□藤原七海

「誰かのために」

□宮本夏美

「看護師を目指して」

■2年生

□NGUYEN PHUC TOAN

「架け橋」

□杉本りあら

「素敵な大人になるために」

■3年生

□春名 憩

「進路を実現させるために」

□小林 稜

「支え」

発表の6人は聴衆の反応が見えない発表を控え、緊張した面持ちで放送室に集いました。生徒たちは、この日に備えて、約半月前から原稿を準備しており、原稿用紙数枚分におよぶ「夢」を語りました。



1・2年生の発表者は、思い描く将来の夢を語り、3年生の発表者は、夢を実現したこの一年の取り組みをマイクを通して語りました。いずれの発表も、教室で耳を傾ける生徒たちの生き方に大いなる活力を与えてくれたと思います。神崎高校の良き伝統を伝える学校行事です。

ちょっと一言

◇神崎高校の教員と生徒たちは、コロナ禍での「うぐいす荘訪問」を実現してくれました。クリスマスリースのおすそわけは校長室前に飾ってあります。ウィズコロナというのに、うかれているわけではありません。「体の距離が離れても、心の距離は離れませんよ」というメッセージを発信してくれたのだと思います。進学説明会と夢を追う神高生の主張大会の日の校長挨拶をリンク先に掲載します。一読していただければ幸いです。夢さがし。人間は一人残らず**世の中の役に立つ力(持ち味)**を授けられて生まれてきていると信じて生きてきた私は、まず「**他の人や世の中がどんなことで困っているかな**」から始めました。参考になりますでしょうか。



校長メッセージ
(HP)はこちら
から↑